

カリキュラム

D. データ活用		効率よく分析するためのデータ集計	主な受講者層	
表計算ソフト活用			ITを活用した業務改善に取り組む方	
コースのねらい	効率よく大量のデータを分析するための、表計算ソフトを活用したデータ集計手法を習得する。			
講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	データ集約	<p>(0) データ分析のステップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データ分析の基本的な流れや考え方について知って頂くとともに、本コースの位置付けについて解説します。 <p>(1) データの種類と特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数値や文字列、日付や時間の他、シリアル値等について、その特徴や表示形式について学びます。 <p>(2) テーブル機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分析で主に用いるテーブル形式について、その特徴や作成する際の留意事項等について解説します。 ・ テーブル形式への変換や解除のしかたについて学びます。 <p>(3) データの入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セルの移動や選択など、基本的な機能についておさらいをします。 ・ 整ったデータを入力するための入力規則、コピーや移動等の編集、オートフィル機能等について学びます。 ・ 表記のゆれをチェックし、集計や分析に適したデータに整理したり、整形する手法について学びます。 ・ 外部ファイル（テキスト形式、csv形式）のデータを、Excelに取り込む方法について、解説します。 <p>(4) ワークシートの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの追加や削除、選択方法等について学びます。 <p>(5) 関数の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関数の入力方法や様式など、基本的な知識や使い方について学びます。 ・ 関数と演算子の違いや、使い分けについて学びます。 ・ セルの参照形式（絶対参照と相対参照）やその変更方法について学びます。 	2.5
	2	データ集計	<p>(1) データの並べ替え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昇順/降順の他、複数キーによる並べ替えなど、並べ替えの方法について学びます。 <p>(2) データの集計とグループ化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 列又は行をグループ化し、表示/非表示を切り替える方法について学びます。 ・ 表のデータをグループに分類して、項目ごとの合計を求めたり、平均を求めたりする方法（アウトライン）について学びます。 <p>(3) データの抽出と抽出条件設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条件を満たすデータを抽出するためのフィルターの機能と使い方について学びます。 	1.0
	3	データ集計に役立つ機能	<p>(1) 集計に役立つ関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ COUNTIF関数やSUMIF関数、VLOOKUP関数など、効率的に集計が行える関数について、学びます。 ・ データ表記を統一するASC/JIS関数等、文字列操作関数について学びます。 ・ その他、IF関数を用いた空白処理やエラー処理について解説します。 <p>(2) データの可視化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可視化の一つである条件付き書式（カラスケール他）について学びます。 <p>(3) 複数のワークシート集計（3D集計・統合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数のワークシートを参照し、合計や平均を求める方法や留意事項について学びます。 <p>(4) ピボットテーブル機能（紹介）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大量のデータを様々な視点から集約したり集計できるピボットテーブルについて、概要や特徴を解説します。 ・ ピボットテーブルの作成方法や基本的な操作方法（フィールドの選択や設定）、活用の仕方について学びます。 	2.5
演習	<p>※演習は、各項目・ステップ毎に具体的なデータを用いたものを用意し、説明と並行して随時、各自のPCを操作して確認頂くことで、理解を深めて頂きます。</p> <p>なお、可能であれば、オーダー企業様の方で、日頃使われているデータを提供して頂き、それを用いた演習を作成し、使用させて頂くことで、訓練をより身近に感じて頂くようになります。</p>		上記の訓練時間に含まず	
合計時間			6.0	